

2016 年度在宅医療助成（前期）

「訪問看護ステーション等が開設する医療・介護相談室づくり（3年計画）」

完了報告書（1年目）

提出日 2017年8月28日

報告者 訪問看護ステーション絆 玉谷弘美

I. 2016年8月～2017年8月 活動計画

● 目的

訪問看護利用者、その家族のための相談業務は随時、当訪問看護ステーションにて対応してきたが、利用者やその家族をともに支える地域の医療・福祉関係者、また、訪問看護等の利用とまではいかない高齢者やその家族への相談、実施までは行っていなかった。医療・介護相談室を新たに設けることで、訪問看護ステーションが地域社会に浸透して、広く繋がり・支援できることを目指している。

訪問看護等の利用までもいかない地域の高齢者やその家族への相談を受けることで、本人や家族の介護予防、家族の介護に関する悩みへの対応等を目的とし、医療・介護相談室を開設した。2016年8月に活動を開始、2016年8月～2017年3月の当初6ヶ月間は、告知活動を中心とし、相談室周辺での認知度は徐々に上がってきただが、実際の相談件数には繋がっていなかった。2017年3月～2017年の8月は引き続き、医療・介護相談室の認知度を向上させること、また、その活動内容を理解してもらうことに主眼を置きつつ、本来の目的である、本人や家族の介護予防、家族の介護に関する悩みへの相談対応を実施することを活動の目的とした。

● 医療・介護相談室設置

- 広報活動（周知告知チラシの郵送、新聞広告折り込みチラシ配布、近隣地域へポスティング、地域の回覧板、掲示板、医療介護相談室の看板旗）

● 医療・介護相談室の開催

（月2回（第一火曜日（9：00～15：00）・第四土曜日（9：00～15：00）（17：00～19：00））

- 活動報告や活動見直しのための検討会
- 相談しやすい場所づくり

II. 活動結果

- 医療・介護相談室設置（写真・レイアウトの工夫、相談実施のための工夫などをコメント）



相談室開催風景

- 広報活動（周知告知はがきの郵送、近隣へポスティング、医療介護相談室の看板旗写真）

時期	広報活動詳細
2016年8月	新聞広告折り込みチラシ配布（岡山市南区。倉敷市西部） 医療・福祉関係に周知告知チラシの郵送 医療介護相談室の看板旗の作成 地域包括支援センターにチラシを持参し周知告知/ スーパー飲食店にポスター掲示し広報
2016年9月	居宅事業所に周知告知チラシの郵/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知
2016年10月	地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知
2016年11月	地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知/地域の回覧板、掲示板に掲載して広報

2016年12月	地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知 妹尾郵便局（近隣郵便局）にて医療・介護相談室実施/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知/地域の回覧板、掲示版に掲載して広報 当社イベント、文化祭&バザー時に広報
2017年1月	地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知/地域の回覧板、掲示版に掲載して広報
2017年2月	地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知/地域の回覧板、掲示版に掲載して広報
2017年3月	妹尾公民館 いきいきスクールにて講座（内容：知ってためになる訪問看護） 西ふれあいセンター 「らく護会」介護を励ます会で医療・介護の相談室を紹介
2017年4月	居宅事業所に周知告知チラシの郵/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知
2017年5月	看護師を象った看板の設置（若い世代や子供たちに興味をもってもらうため） 妹尾公民館 いきいきスクールにて講座（内容：知ってためになる訪問看護）
2017年6月	コンベックス 「マッチングプラザ」（内容：訪問看護師の活用） 地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知/地域の回覧板、掲示版に掲載して広報
2017年7月	東睦サロン 脱水予防に関する講座 地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知 妹尾郵便局（近隣郵便局）にて医療・介護相談室実施/スーパー飲食店にポスター掲示し広報 サロン等やイベント毎にチラシを持参し告知/地域の回覧板、掲示版に掲載して広報
2017年8月	西大寺ふれあいセンター（内容：看取りの事例を通して 考える最高のケア） 地域包括支援センター等にチラシを持参し周知告知



ショッピングセンターの場所を
借りて相談室開催



講演の様子



● 医療・介護相談室の開催（月2回（第一火曜日・第四土曜日））

時期	開催日	相談者数（人）	相談内容概要 （電話相談のカウントしておらず、未分析）
2016年8月	8/2	2	施設入所中一時外泊後、戻りたくない。 生活環境の改善 ベットを借りたい・・・どこに言ったら借りられる。
	8/24	0	
2016年9月	9/6	2	介護相談（爪が切れない。）
	9/24	0	
2016年10月	10/4	1	介護医療制度の相談（24h定期巡回とは何ですか？制度の質問）
	10/22	0	
2016年11月	11/1	1	医療の相談（夫の転院について）
	11/26	0	
2016年12月	12/6 12/16	1	医療・介護の相談（実両親の介護が大変。（父がインスリン開始で手技を教 えてほしい。））
2017年1月	1/17	1	介護相談（デイサービスに通っているが他にいきたいどうすれば？）
	1/28	0	
2017年2月	2/7	0	
	2/18	2	医療・介護の相談（ケアマネージャーから相談（癌末期の方の支援について） 精神の娘の暴力等、居場所がない。）
2017年3月	3/7（火）	6	生活習慣の相談（禁煙外来の紹介。相談ラインの紹介）
	3/25（土）	5	生活状況の確認（繰り返し来訪されている方の状況確認）
2017年4月	4/4（火）	2	生活習慣の相談（実践中のお困り事）
	4/29（土）	4	生活状況の確認（繰り返し来訪されている方の状況確認）
2017年5月	5/2（火）	1	生活習慣の相談（実践中のお困り事）
	5/27（土）	1	生活環境に関する TEL 相談（身辺整理 独居にため付き添いの相談）
2017年6月	6/13（火）	4	生活習慣の相談 実践中のお困り事）
	6/24（土）	2	生活習慣の相談 禁煙の方法（実践中のお困り事）
2017年7月	7/11（火）	2	生活状況の確認（繰り返し来訪されている方の状況確認）
	7/22（土）	2	生活習慣の相談 禁煙の方法（実践中のお困り事）
2017年8月	8/8（火）	4	生活環境に関する相談（部屋のカビをどうしたらいいのか）等
	8/26（土）	0	



相談風景

● 相談しやすい場所づくり

医療・介護相談室の掲示旗を設置し、通りかかった方の目につくよう、認知度向上のための工夫をし、開催中は常時扉を開け、お茶などを飲み休憩ができる等、気軽に入ることができるようにしていたが、来訪には至らなかった。

そのため、入り口付近に雑貨等を配置し、植木等、草花を植えて出入りに置き、誰でも気軽に入ることができるようにレイアウトを変更した。また、相談はゆったりとした気持ちで行うことができるよう、癒しの空間としてうけとってもらえるように奥まった場所に相談のためのスペースを確保した。



注目を浴びやすい
カオナン看板（看護師像）



戸外から見る事ができる場所に雑貨類を展示
気軽に入りやすい工夫をした



入口より奥まった場所に相
談できるスペース確保

● 活動発表

● 岡山プライマリーケア学会（3月20日、岡山県医師開館にて開催）にて医療・介護相談室の活動について発表を実施。2016年8月から2017年3月の6ヶ月の活動状況と、医療・介護相談室の開催の意義、看護ケアが必要となる状態となることの予防、派生する生活の困りごとを対応できる公的・民間サービス機関の紹介を行うこと等を強く訴えた。

● マッチングプラザ（6月20日、岡山コンベンションセンター）にて訪問看護師の活用と題して、訪問看護ステーション、認知症カフェ、医療・介護相談室の運営について、岡山県の医療・介護関係者等に説明を行った。

III. 活動を振り返って

● 活動見直しのための検討会

	内 容
2016年8月	広報の方法の検討 周知ちらし作成案検討
2016年9月	チラシの配布方法の検討
2016年10月	
2016年11月	サテライト相談の実施の検討
2016年12月	郵便局相談室の実施の振り返り
2017年1月	広報の方法の検討
2017年2月	中間報告に向けて
2017年3月	情報共有（個人情報シートの記入）について
2017年4月	顔はめパネルの検討（若い世代へのPR）
2017年5月	広報物品の検討
2017年6月	
2017年7月	相談室の告知活動（岡山市より講座の開催依頼）

医療・介護の相談室の開催について、看板旗設置によるスーパー利用者等、医療・福祉関係者への告知活動により徐々に認知されてきているが、地内の狭いエリアにとどまっていること、活動面の詳細が伝えきれていないことが課題にある。また、本来の目的のひとつとして考えている、要介護状態の予防の活動が2016年8月～2017年3月の6ヶ月間では不十分であったため、医療・介護相談室の告知活動も兼ねて、公民館などで講演活動を行った。今後は引き続き、医療・介護相談室の告知活動、活動面の詳細の紹介活動を中心に、地域の方々への要介護状態の予防のための活動を増やしていきたいと考えている。

個別の相談は、2016年8月～2017年8月の1年を通して、自身の健康状態や要介護状態の予防というよりも、『地域社会の中で居場所がない』と感じている方、それを恐れて無理をされておられる方。地域社会の中で「居場所がない」「阻害されている」と感じることは、「生活」や「健康」の質の低下に繋がると思われる。『社会的な役割』や『居場所』探しを支援することは、生活支援の範囲と考える。また、心理的依存とともに環境の影響が伴う禁煙についてのご相談が継続的にあり、このような生活の困りごとを相談されることが多かった。

医療・介護/福祉制度に関する資料や、地域の資源に関する資料を整備することにも力を入れたい。

IV. 2017年3月～2018年2月 活動計画

- 広報活動（周知告知はがきの郵送、広報暑い誌ポスティング、医療介護相談室の看板）
- 講演活動（公民館などでの要介護予防に関する講義等）
- 医療・介護相談室の開催
（月2回（第一火曜日（9：00～15：00）・第四土曜日（9：00～15：00））
- 活動見直しのための検討会
- 相談しやすい場所づくり
- 他事業所の視察（県外）
- 来訪だけでなく TEL や FAX での相談の告知
- 事例データ集積、分析を重ねることで広報誌に繋げる。

以上

「公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成による」